

APEXFiz[®] バージョンアップ情報 注目の最新機能をご紹介します

APEXFiz バージョン (V-05) の注目機能についてご紹介します。

その他の新しく対応された機能については、SHIMA HelpCenter のヘルプにて詳細をご確認ください。

ステンシルツール > 【オブジェクト】を追加

■ 対応プラン： [Design-Standard](#) [Design-Knit](#) [Design-Weave](#) [Design Pro](#)

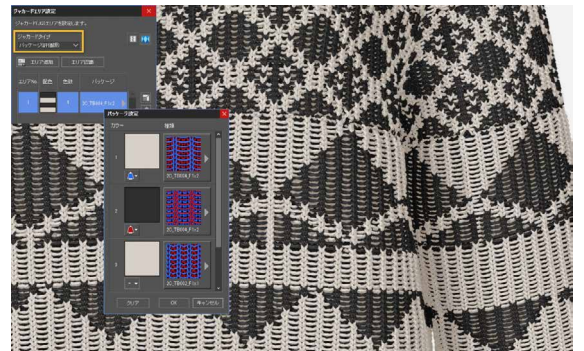
AI（人工知能）を使用した、ステンシルの自動作成機能を追加しました。オブジェクトの形状を AI で検出し、ステンシルが自動的に作成されるため、効率的にデザインワークをおこなうことが可能です。



ループ編集／ループ変換 > ジャカードエリア設定 > 裏立て、前ミスのジャカード柄を追加

■ 対応プラン： [Design-Knit](#) [Design Pro](#)

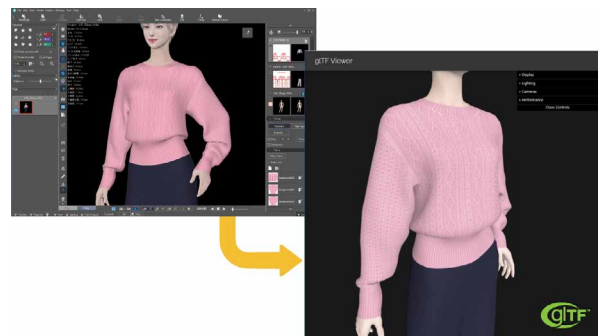
ジャカードのループシミュレーションで、裏立てや前ミスの表現が可能になりました。



glTFフォーマットに、横編みニットのテクスチャマップをエクスポート

■ 対応プラン： [Design-Knit](#) [Design Pro](#) [3D オプション](#)

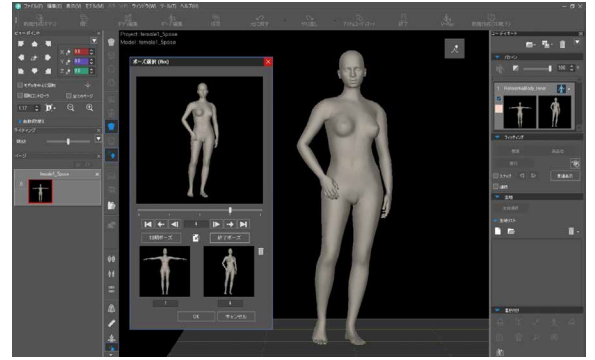
横編みニットの 3D データを glTF Text (*.glTF) と glTF Binary (*.glb) フォーマットで書き出す際、テクスチャマップ画像もエクスポートできるようになりました。よりリアルなアニメーション作成などにもご利用いただけます。



3DModelistソフトにfbxファイルをインポート

■ 対応プラン： Design-Standard Design-Knit Design-Weave Design Pro 3D オプション

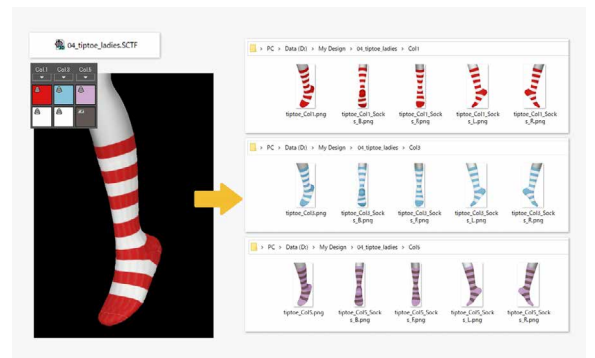
3DModelist ソフトに fbx ファイルを読み込み、フィッティングシミュレーションに使用できるようになりました。アニメーションのキーフレームが埋め込まれている場合、フィッティング時にポーズ変更することも可能です。



3Dループ変換 > 複数のシミュレーション画像を一括エクスポート

■ 対応プラン： Design-Knit Design Pro 3D オプション

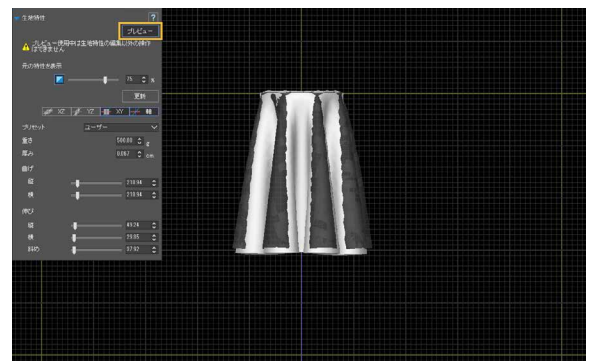
指定した複数の配色のシミュレーション画像を一括してエクスポートできるようになり、作業効率が向上しました。



生地編集 > 生地特性の編集に【プレビュー】を追加

■ 対応プラン： Design-Standard Design-Knit Design-Weave Design Pro 3D オプション

生地特性を編集する際、生地の変化を確認できるようになりました。編集前のオリジナルの状態（黒で表示）と、編集後の状態（白で表示）が重ねて表示されます。



寸法入力/寸法入力(ニット) > パラシュートに新しい形状を追加

■ 対応プラン： PGM-Patternmaker PGM-Patterngrader PGM-Markermaker PGM Pro

パラシュート部分がブロック形状タイプのパターンを作成できるようになりました。パラシュート部分にジャカード柄を描画したい場合など、ハギタイプのパターンでは困難であった横方向の柄のつながりを考慮しながらデザインすることが可能です。

